

【ヒアリングメモ】(相手方用)

ヒアリング実施日	令和3年10月8日 16時00分～17時30分 場所：本社第2会議室	ヒアリングメモ 作成者	人事部主任 A
面談者氏名	Z		
面談者情報	部署：営業部 雇用形態：正社員（入社3年2か月） 役職名：部長		
聴取者	人事部長 B、人事部主任 A		
ヒアリング 内容	<ul style="list-style-type: none"> 8か月前に主任の×さんに厳しいことを言ったのは事実。 具体的にどういう言い方をしたかは覚えていないが、入社6か月が経過して期待外れという気持ちを持っていた。 前職での輝かしい経験からするともっとやつてくれると期待していたが、実際には自主的に何かをしようという積極的な提案がなかった。 人事部で、なかなか良い人が採用できなくて採用コストもかかっているということを部長会議で聞いていたので、やるせない気持ちになった。 給料泥棒とは言っていない。詐欺という言葉は使ったかもしれない。 入社して1年経った頃に、ヘッドハンティングで採用されて1年経つて結果が出なければ、俺だったら身を引くと思うというようなことは言ったかもしれない。あくまで自分だったらの話。 辞めろと言っていない。それくらいの覚悟でやってほしいという趣旨だった。 ボーナスの件は、×さんが頑張ってくれればボーナスがもっと出たかもしれないという話をしたつもりだったが、よく覚えていない。 同行する車内のなかで、色気がどうのということは絶対に言っていない。車内なのでこちらも言動には気を付けています。 営業計画書を3日で200ページ作れるとはこちらも思っていない。それくらいのやる気を見せてほしいので、奮起してもらうべく言った。実際には他の営業社員にも手伝ってもらって完成している。 確かに言い過ぎたところはあるが、覚えていないこともあるし、基本的に営業部がより良くなつてもらうための発言だったと思っている。以後、発言には気を付けたい。 		
特記事項	<p>ヒアリング冒頭に、記憶に基づき正直に話してもらいたいこと、虚偽の陳述や証言があったと認められる場合には不利に働くこと、調査内容については一切口外しないことを伝えるとともに、犯人捜しや報復は絶対にしないように注意した。万が一そのような行為があった場合、それ自身厳しく処分されることを伝えた。</p>		

コメントの追加 [A1]: 録音データがあるところは踏み込んで質問してみてもよい。この時点で録音の存在があることは伝えなくてもよい。正直にどこまで話すかをみることも重要。反省の程度に関わる。

コメントの追加 [A2]: 報復しないよう説明したことを記録に残しておく。

コメントの追加 [A3]: ヒアリング冒頭に、注意事項として伝えたことを記録しておく。